

合同遠足(5・6組)

友達とふれあう

10月12日(金)、青葉区の個別支援学級の友達と一緒にこどもの国へ遠足に行きました。皇太子記念館で行われた『青葉の集い』では、他校の友達と歌やダンスを通してふれあい、楽しい思い出をつくることができました。



『青葉の集い』
初めて会う人とも
笑顔で交流しました。

その後、自分たちで事前に決めた計画に沿って園内の遊具で遊んだり、ソフトクリームを食べたりしました。高学年の児童を中心に、計画通りに回ることができるよう、自分たちで時間を確認しながら活動する姿が見られ、成長を感じました。



マナーを守って乗車。
疲れていても静かに、良い姿勢で！

また、電車のマナーや道の歩き方を意識し、楽しい中にも規律を守った行動をすることができました。

あざみ野中学校見学(5年)

未来の自分像をつむぐ

9月13日(木)、あざみ野中学校へ授業を見学しに行きました。子どもたちは、中学生になった自分の姿を想像しながら、参観していました。

小学校とは違う授業の内容や新しい教科の学習に興味をもち、「早く中学生になりたい。」と期待に胸を膨らませています。



中学校の先生の話をも
真剣に聞いています。

みずずが丘まつり(6年)

地域との絆をつむぐ

10月20日(土)に行われたみずずが丘祭りでは、6年生有志18名がソーラン節を披露しました。運動会の演技にアレンジを加え、勇ましさとしらべの両立を目指しました。地域の方の温かい拍手と眼差しに触れることができた一日となりました。



勇ましく踊りました。

茶の湯体験(6年)

日本の伝統とふれあう

10月12日(金)に、室町時代の文化「茶の湯」を体験しました。

会場となった視聴覚室内は、掛け軸こそありませんが、季節の置物やお花で飾られており、雰囲気満点。季節感あふれる柄のお茶碗でもてなしていただきました。子どもたちは、赤い毛氈(もうせん)の上に神妙に正座し、表千家都流伊藤八津木先生のお点前を見入っていました。

袱紗(ふくさ)さばき、お点前の所作、菓子皿から箸でお菓子を懐紙(かいし)に取る手順、お茶を飲む前にお隣に「お先に」と手をつくしぐさなどを教わり、いろいろな決まりや作法があることに驚いていました。

懐紙を使って人形焼きを食べながら、先生の点てたお茶をじっくり味わいました。その後、自分たちもお茶を点てましたが、「おかしいなあ、泡が立たない…」先生の点てたお茶との違いを感じました。

総合芸術である「茶の湯」の奥深さに触れることができたようです。



先生のお点前を見学中